

JIS

小形チャンバー法による室内空気汚染濃度
低減材の低減性能試験法—一定揮発性有機
化合物（VOC）、及びホルムアルデヒドを除
く他のカルボニル化合物濃度供給法による
吸着速度測定

JIS A 1906 : 2008

平成 20 年 2 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

（日本規格協会 発行）

日本工業標準調査会標準部会 建築技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	菅原進一	東京理科大学
(委員)	河村壮一	社団法人建築業協会
	勝野奉幸	財団法人建材試験センター
	櫻井誠二	断熱・保温規格協議会
	阿部隆	社団法人日本鉄鋼連盟
	立山徳子	社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
	富田育男	社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	渡邊靖司	独立行政法人住宅金融支援機構
	林央	社団法人日本アルミニウム協会 (独立行政法人理化学研究所)
	藤田伊織	国土交通省
	松井勇	日本大学
(専門委員)	榊正剛	国土交通省
	山内泰之	独立行政法人建築研究所
	福永敬一	財団法人日本規格協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 20.2.20

官 報 公 示：平成 20.2.20

原案作成協力者：財団法人建材試験センター

(〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 2-9-8 友泉茅場町ビル TEL 03-3664-9211)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：建築技術専門委員会 (委員長 菅原 進一)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成協力者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 E-mail:qqgcbd@meti.go.jp 又は FAX 03-3580-8625) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語, 定義, 記号及び単位	2
3.1 用語及び定義	2
3.2 記号及び単位	2
4 測定原理	3
5 器具	3
5.1 低減量の性能測定用器具	3
5.2 低減効果の持続性能測定用器具	5
6 試験条件	6
6.1 低減量の性能試験	6
6.2 低減効果の持続性能	7
7 試験条件の検証	7
7.1 試験条件のモニタリング	7
7.2 小形チャンバーの気密性	8
7.3 小形チャンバー内の換気回数	8
7.4 小形チャンバー内の換気性能係数	8
7.5 回収率及びシンク効果	8
8 小形チャンバーの準備	9
9 試験片の準備	9
9.1 一般	9
9.2 シール工程	9
10 測定方法	9
10.1 低減量の性能試験	9
10.2 低減効果の持続性能	10
11 試験対象化学物質の分析	11
12 吸着速度, 積算吸着量及び換気量換算値の算出方法	11
13 報告書	11
解 説	14